

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 株式会社北川鉄工所 上場取引所 東
 コード番号 6317 URL <https://www.kiw.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 岡野 帝男
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 三好 桂司 (TEL) 0847(45)4560
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	41,784	△8.7	1,407	16.9	1,985	8.3	1,172	△17.8
2024年3月期第3四半期	45,789	8.3	1,204	—	1,834	622.4	1,427	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 472百万円(△81.4%) 2024年3月期第3四半期 2,545百万円(22.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	126.96	—
2024年3月期第3四半期	154.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	79,976	39,920	49.9
2024年3月期	80,142	40,031	49.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 39,915百万円 2024年3月期 40,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2025年3月期	—	25.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,700	△7.9	1,700	1.2	2,200	△8.7	1,200	△5.3	129.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	9,650,803株	2024年3月期	9,650,803株
2025年3月期3Q	411,167株	2024年3月期	420,342株
2025年3月期3Q	9,235,627株	2024年3月期3Q	9,231,252株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日から2024年12月31日まで)における世界経済は、中国経済の低迷や不安定な中東情勢、米国による輸入品関税の引上げリスクなど先行き不透明な状況が続いておりますが、米国での個人消費の増加や、インフレの低下による欧州経済の持ち直し等により緩やかな回復基調で推移しました。また、わが国経済も、物価の高止まりや急激な為替の変動など先の見通せない状況が続いておりますが、雇用・所得環境の改善等もあり、個人消費や民間設備投資は持ち直しの動きが見られました。

このような経営環境下において、当社グループは長期経営計画「Plus Decade 2031」で掲げる世界基準の成長を目指し、施策を推進してまいりました。また、昨年11月には中期経営計画2027を策定し、基盤事業の収益力改善・強化および資本の効率的活用により「世界基準の成長」を可能とする事業・収益構造の転換に向けた土台作りを推進してまいります。当第3四半期連結累計期間は、売上高は金属素形材事業のタイ工場の閉鎖、産業機械事業での納期の延期等により減少となりましたが、半導体関連事業、産業機械事業の収益性が改善されたこと等により営業利益が前年同期比で増加しました。

その結果、売上高はグループ全体で、41,784百万円(前年同期比 8.7%減)、営業利益は1,407百万円(前年同期比 16.9%増)、経常利益は1,985百万円(前年同期比 8.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,172百万円(前年同期比 17.8%減)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

なお、中間連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、前第3四半期連結累計期間との比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

キタガワ グローバル ハンド カンパニー (工作機器事業)

工作機械業界は、全体として需要の力強さを欠き、受注高は前年同期比で横ばいに推移しました。電気自動車(EV)関連等の投資が底堅く推移し海外向けが増えたものの、国内向けは自動車産業の投資減速を受け減少となりました。

当カンパニーの売上高は、海外はインド向け等の受注が増えたものの、国内市場の設備投資低迷が影響し、6,494百万円(前年同期比 6.6%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)につきましては、売上高減少の影響により、369百万円(前年同期比 36.4%減)となりました。

キタガワ サン テック カンパニー (産業機械事業)

建設業界は、慢性的な建設労働者不足による労務費の高騰や建設資材価格の高止まり等の課題はありますが、公共投資、民間建設投資ともに好調であり底堅く推移しました。

当カンパニーの売上高は、概ね計画通りに推移しましたが、荷役機械事業が計画していた一部の売上が来期以降に延期となり14,303百万円(前年同期比 7.8%減)となりました。一方、セグメント利益(営業利益)につきましては、原材料コスト上昇分の価格転嫁や立体駐車場事業における施工管理の徹底などにより安定した収益が確保できたため1,114百万円(前年同期比 19.4%増)となりました。

キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー (金属素形材事業)

自動車業界は、EV需要の成長スピードが世界的に鈍化しており、国内では自動車メーカーの不正認証の問題が発生するなど先行きの見通せない状況が続いておりますが、世界的な市況は概ね横ばいに推移しています。一方、農業機械・建設機械業界につきましては、欧米の高金利影響による住宅着工の減少や中国でのエンジン需要の低下などの影響が強く、市場は弱含みで推移しています。

当カンパニーの売上高は、タイ工場の閉鎖に伴う売上の減少や自動車部品・農業機械部品の受注量減少により、18,535百万円(前年同期比 16.7%減)となりました。また、コスト低減活動や、販売価格改定により収益力は徐々に改善しているものの、受注量減少の影響が大きく、セグメント損失(営業損失)は、56百万円(前年同期セグメント利益(営業利益) 198百万円)となりました。

半導体関連事業

半導体業界は、在庫調整による調整局面が終了し、堅調に持ち直しております。

当事業セグメントの売上高は、連結子会社である北川グレステック㈱がHDD製造装置の大型案件の売上を計上したこと、半導体関連の消耗品販売および受託加工が順調に推移したことにより、1,868百万円(前年同期比 213.6%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)につきましては、506百万円(前年同期比 349.3%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権の減少などにより、前連結会計年度末に比べて166百万円減少し、79,976百万円となりました。

負債は、仕入債務や未払法人税等の減少などにより、前連結会計年度末に比べて54百万円減少し、40,056百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の減少などにより前連結会計年度末に比べて111百万円減少し、39,920百万円となりました。純資産から非支配株主持分を差し引いた自己資本は39,915百万円となり、自己資本比率は49.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、直近の業績動向を踏まえ、2024年11月8日に公表しました業績予想の内容を修正しております。

詳細につきましては、本日(2025年2月12日)公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,646	11,103
受取手形、売掛金及び契約資産	9,555	8,334
電子記録債権	7,843	6,630
商品及び製品	4,098	4,534
仕掛品	6,246	6,718
原材料及び貯蔵品	2,664	2,977
その他	1,031	1,104
貸倒引当金	△16	△13
流動資産合計	42,070	41,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,383	7,175
機械装置及び運搬具（純額）	11,533	10,817
その他（純額）	6,325	7,489
有形固定資産合計	25,242	25,482
無形固定資産		
のれん	622	556
その他	564	566
無形固定資産合計	1,186	1,122
投資その他の資産	11,642	11,982
固定資産合計	38,072	38,587
資産合計	80,142	79,976

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,044	4,076
電子記録債務	6,042	5,173
短期借入金	4,230	5,208
1年内償還予定の社債	10	5
1年内返済予定の長期借入金	3,404	1,583
未払法人税等	963	87
賞与引当金	659	167
役員賞与引当金	27	—
製品保証引当金	133	89
損害補償損失引当金	183	—
工事損失引当金	—	4
その他	5,314	6,879
流動負債合計	25,013	23,275
固定負債		
長期借入金	8,452	9,590
環境対策引当金	25	23
退職給付に係る負債	4,841	5,039
その他	1,777	2,127
固定負債合計	15,097	16,780
負債合計	40,111	40,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	5,080	4,893
利益剰余金	21,186	21,943
自己株式	△795	△777
株主資本合計	34,112	34,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,043	1,851
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	2,237	1,820
退職給付に係る調整累計額	1,634	1,543
その他の包括利益累計額合計	5,914	5,215
非支配株主持分	4	4
純資産合計	40,031	39,920
負債純資産合計	80,142	79,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	45,789	41,784
売上原価	39,666	35,137
売上総利益	6,123	6,646
販売費及び一般管理費	4,919	5,239
営業利益	1,204	1,407
営業外収益		
受取利息	87	33
受取配当金	94	112
持分法による投資利益	113	92
為替差益	237	239
スクラップ売却益	189	153
その他	212	252
営業外収益合計	934	883
営業外費用		
支払利息	228	264
その他	75	40
営業外費用合計	304	305
経常利益	1,834	1,985
特別利益		
固定資産売却益	—	35
投資有価証券売却益	587	—
助成金収入	105	—
特別利益合計	693	35
特別損失		
固定資産除却損	223	—
損害補償損失	—	22
特別損失合計	223	22
税金等調整前四半期純利益	2,303	1,999
法人税、住民税及び事業税	560	294
法人税等調整額	343	533
法人税等合計	904	827
四半期純利益	1,399	1,171
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△27	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,427	1,172

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,399	1,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	126	△191
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	938	△415
退職給付に係る調整額	41	△90
持分法適用会社に対する持分相当額	39	△1
その他の包括利益合計	1,146	△698
四半期包括利益	2,545	472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,555	473
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					計	その他 (注)	合計
	キタガワ グローバル ハンド カンパニー	キタガワ サン テック カンパニー	キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー	半導体関連 事業				
売上高								
外部顧客への売上高	6,954	15,506	22,260	595	45,316	472	45,789	
セグメント間の内部 売上高又は振替高	90	0	112	—	202	—	202	
計	7,044	15,507	22,372	595	45,519	472	45,992	
セグメント利益又は 損失(△)	581	933	198	112	1,826	△41	1,784	

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特機事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,826
「その他」の区分の損失(△)	△41
全社費用(注)	△580
四半期連結損益計算書の営業利益	1,204

(注) 主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であり、子会社株式の取得関連費用が含まれております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	キタガワ グローバル ハンド カンパニー	キタガワ サン テック カンパニー	キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー	半導体関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,494	14,303	18,535	1,868	41,200	583	41,784
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	0	137	0	153	—	153
計	6,510	14,303	18,672	1,868	41,354	583	41,938
セグメント利益又は 損失(△)	369	1,114	△56	506	1,934	△46	1,887

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特機事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,934
「その他」の区分の損失(△)	△46
全社費用(注)	△479
四半期連結損益計算書の営業利益	1,407

(注) 主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

中間連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「半導体関連事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,620百万円	2,135百万円
のれんの償却額	22百万円	66百万円